

待つ

五十嵐妖介

待たすより待つのがわたしクロツカス

春寒し阿修羅の腕の細すぎて

連翹やこれが最後の起立・礼

百獣のまどろみ春の動物園

万愚節真つ赤な嘘と云ふ本当

釣り上げて乗込鯛の匂ひかな

この国に万葉の恋猫の恋

棒切れをバットに四人春の浜

春眠し久遠の仏さまもまた

桜まじ寿司屋へ魚類図鑑持ち

桜蕊降る甥が増え叔父が減り

夕永しあと五分だけ待ってみる